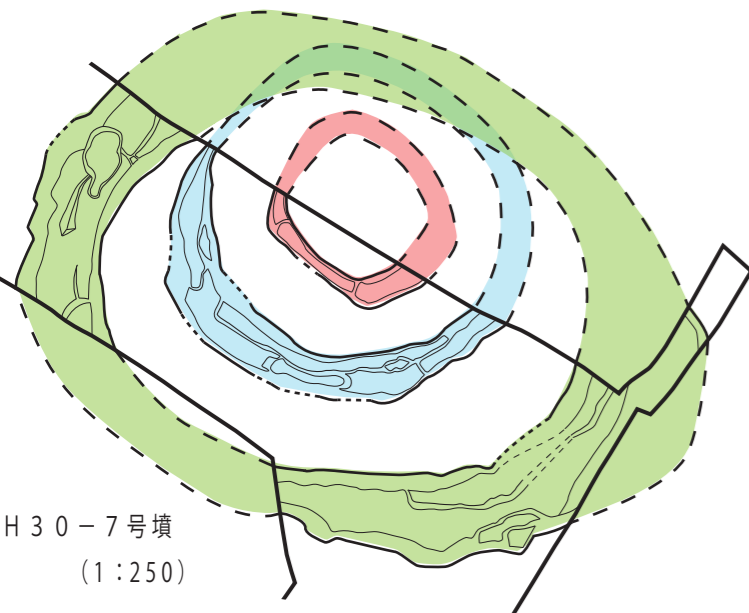


坂本古墳群は、戦前に鈴木敏雄氏が調査を行い、古墳の分布や出土品を記録しています。分布図では1号墳・ウマシ塚・46号墳だけが二重線で表現されています。これら3基は、報告で「空濠」が明確に視認できたことが共通します。46号墳は、平成30年度から実施した調査で検出した「H30-7号墳」(青)の地点と位置的に符号します。この古墳の外側には楕円形状を呈する溝(緑)が検出されており、鈴木氏の報告と形状が一致します。H30-7号墳の周溝の内側にも円形を呈する溝(赤)があり、2つの溝は古墳の時代と異なる可能性が高く、古墳の墳丘を利用した中世墓かもしれません。発掘調査からは、鈴木氏が外周の溝を古墳と認識して記録をしたことが想定され、坂本古墳群を丹念に歩き、克明に記録したことが分かります。



H30-7号墳 (1:250)

～コラム 鈴木敏雄が二重線で描いた古墳～



鈴木敏雄『上御糸村考古誌考』「坂本北郊古墳分布図」(再トレース)
※46号墳が二重線で表現されている

<関連記述部分>

第四十六号墳ハ円墳ニテ径約十三間高約五尺ニテ偏平円墳ナリ。周囲ニ空濠アリテ湿地状ヲナス。

県史跡範囲内			
年度	西暦	次数	備考
H7~8	1995~1996	県史1次	農地開墾
H8	1996	県史2次	農地開墾
H9	1997	県史3次	農地開墾
H10	1998	県史4次	農地開墾
H12	2000	県史5次	範囲確認調査
H15	2003	県史跡指定 (H16. 1. 19)	
H23	2011	追加指定 (H24. 3. 9)	
H25	2013	県史6次	計画調査
H25	2013	県史7次	下水道
H27	2015	県史8次	町道整備

その他			
年度	西暦	次数	備考
H3	1991	1次	試掘、共同住宅建設方墳1基
H24	2012	2次	試掘、太陽光発電周溝複数確認
H25	2013	3次	試掘、団地造成古墳なし
H26	2014	4次	介護施設建築
H30~R1	2018~2019	5次	団地造成

発掘調査で明らかになった古墳群の墳形
 前方後方墳：1基、方墳：27基
 前方後円墳：1基、円墳：3基、不明：複数基
合計 32基以上

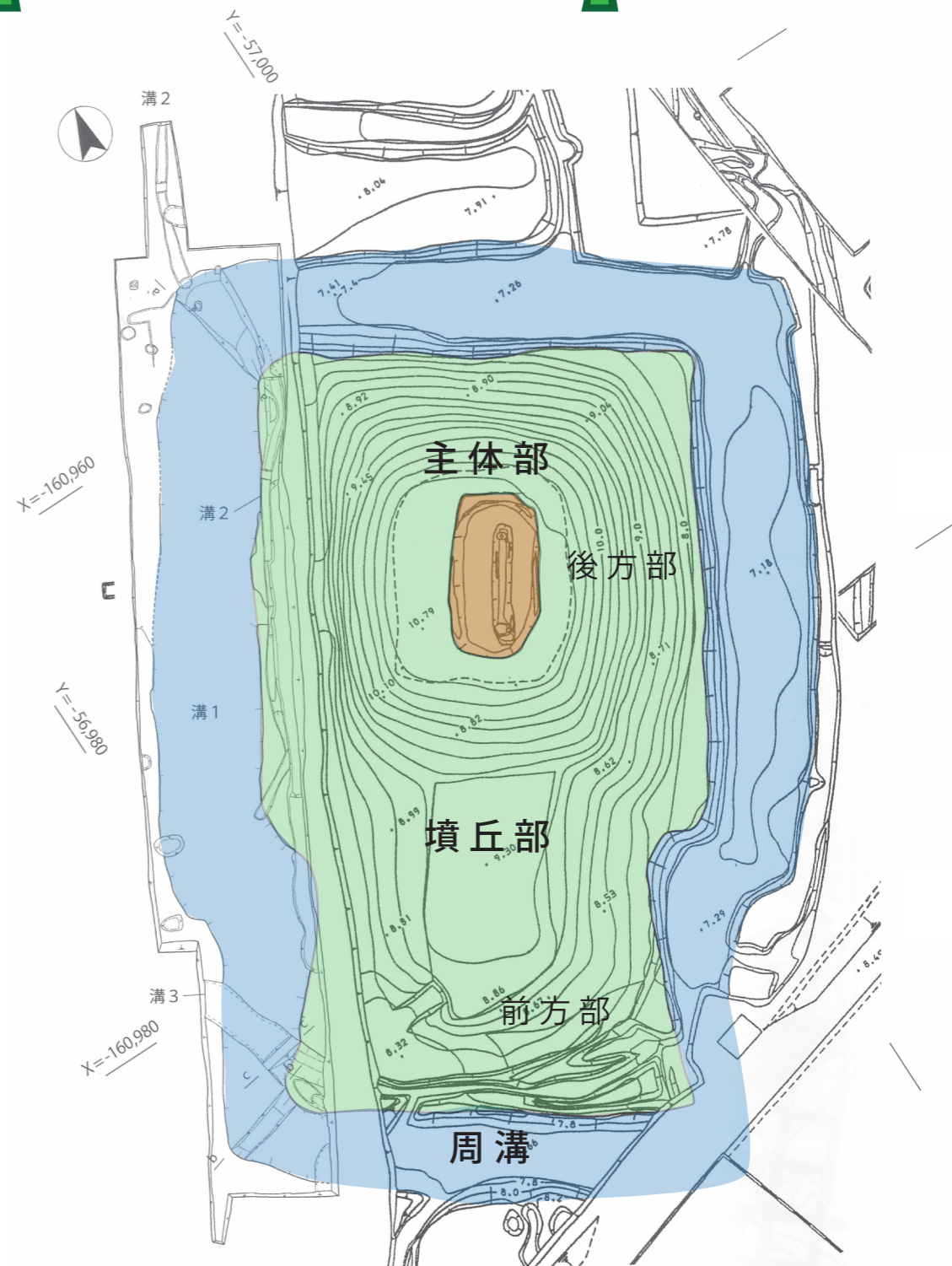
発掘、坂本百八塚 (坂本古墳群 4)

坂本古墳群では、平成7年度に初めて発掘調査を実施して以降、複数回にわたって調査を実施しています。(裏面参照) 近年では、平成25年度には県史跡範囲で調査(第7次)を実施し、坂本1号墳の全容が分かってきました。また、平成26年度と平成30~令和元年度にかけて、史跡範囲の東側でも開発に伴う発掘調査を実施し、古墳群の様子が徐々に分かってきました。本シートでは最新の発掘調査成果の概要をご紹介します。

坂本1号墳のプロフィール

墳形：前方後方墳
 築造時期：7世紀前半
 埋葬方法：木棺直葬
 墳丘：全長38.0m

- ・前方部
長さ：11.0m
幅：15.0m
高さ：2.6m
- ・後方部
長さ：20.2m
幅：17.8m
高さ：4.2m
- ・周溝
幅：2.5m~4.6m
深さ：0.6m~1.0m
- ・埋葬部
長さ：6.5m
幅：3.5m
深さ：0.5~0.8m (主体部)
- ・内部主体
長さ：4.72m
幅：0.74m
深さ：0.44m

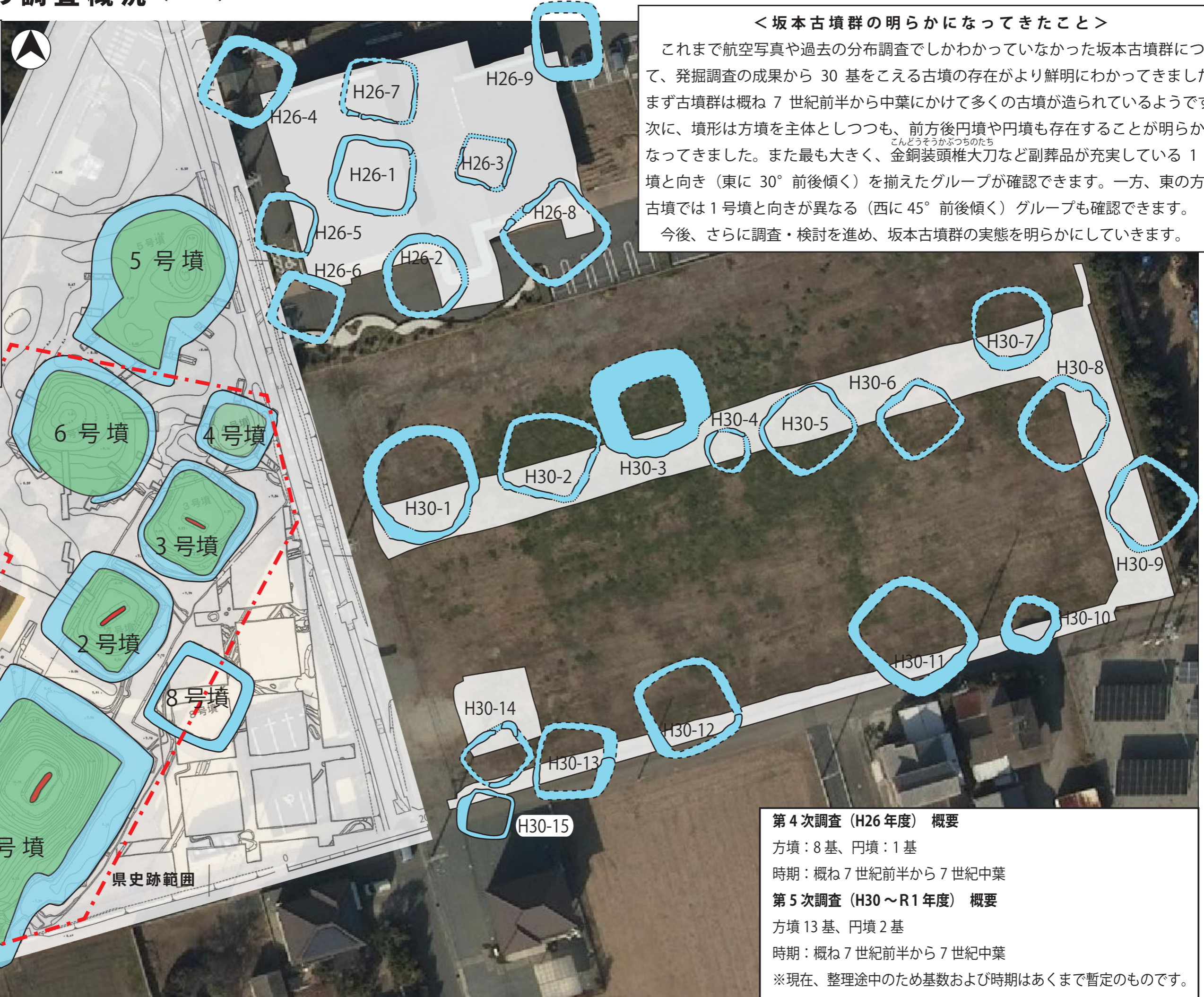


(1:250)

坂本古墳群の調査概況 (1:500)

県史跡部分 概要

- 1号墳：前方後方墳、38.0m
 - 2号墳：方墳、16.0m×15.7m
 - 3号墳：方墳、16.2m×13.0m
 - 4号墳：方墳、9.5m×9.5m(墳丘)
 - 5号墳：前方後円墳、20m以上か
 - 6号墳：方墳、14.5m×16.6m(墳丘)
 - 7号墳：欠番
 - 8号墳：方墳、10.7m×10.3m(墳丘)
- ※1～3号墳は7世紀前半、
その他の時期は不明



<坂本古墳群の明らかになってきたこと>

これまで航空写真や過去の分布調査でしかわかっていなかった坂本古墳群について、発掘調査の結果から 30 基をこえる古墳の存在がより鮮明にわかってきました。まず古墳群は概ね 7 世紀前半から中葉にかけて多くの古墳が造られているようです。次に、墳形は方墳を主体としつつも、前方後円墳や円墳も存在することが明らかになってきました。また最も大きく、こんどうそうかぶつちのたち金銅装頭椎大刀など副葬品が充実している 1 号墳と向き（東に 30° 前後傾く）を揃えたグループが確認できます。一方、東の方の古墳では 1 号墳と向きが異なる（西に 45° 前後傾く）グループも確認できます。今後、さらに調査・検討を進め、坂本古墳群の実態を明らかにしていきます。

第4次調査 (H26年度) 概要

方墳：8基、円墳：1基
 時期：概ね7世紀前半から7世紀中葉

第5次調査 (H30～R1年度) 概要

方墳 13基、円墳 2基
 時期：概ね7世紀前半から7世紀中葉
 ※現在、整理途中のため基数および時期はあくまで暫定のものです。